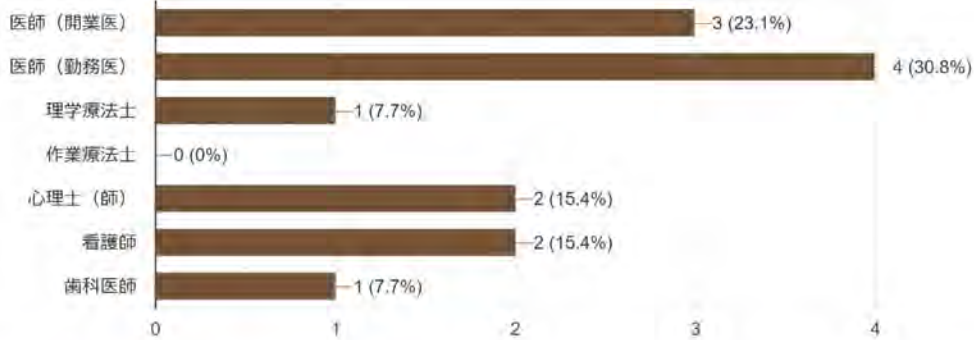


「第13回関西痛みの診療研究会」 アンケート集計結果

2022年12月17日（土） 14：00～17：40（ハイブリッド開催）  
参加者合計 54名（会場15名・オンライン39名）

あなたの職種を教えてください。

13件の回答



■本研究会についてご意見・ご感想をご記入ください

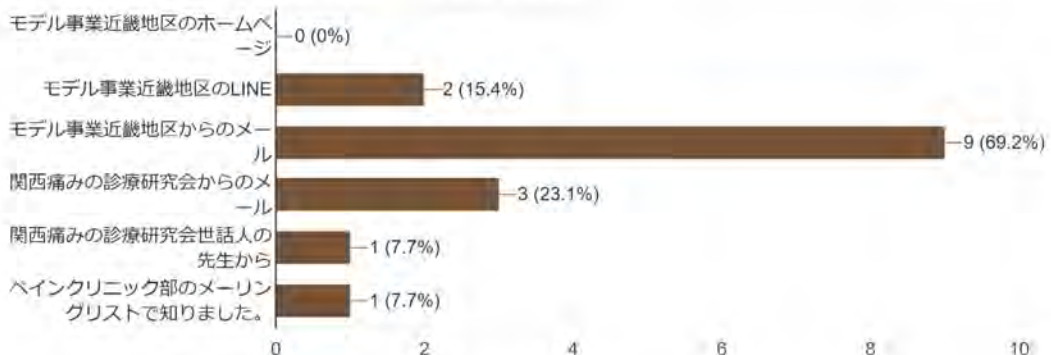
- ・ CRPSの治療について、まだ遅れている、進歩がないように感じた。
- ・ 毎年感じますが、症例検討の時間が十分にあり、充実しているのが良いです。
- ・ 過発な議論で、しかも世話人の先生方同士の意見が真反対でぶつかってくださるので、様々可能性があるということがわかってとても面白かったです。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 具体的な事例提供があり、非常に分かりやすかったです。
- ・ 役に立つ話です。
- ・ 大変興味深く拝聴させて頂きました。
- ・ 各演題がとても興味深く、質疑応答もためになりました。
- ・ 専門的な学びが深まった

■今後の研究会についてのご要望がありましたらご記入ください

- ・ ハイブリッド開催でオンライン参加できたので、今後も続けていただけると嬉しいです。
- ・ 今後もWebでの参加ができるようにしてほしい。
- ・ 今後も言語化しにくい部分を明るみにし続けていただけると嬉しいです。
- ・ 阪大病院で「慢性疼痛の治療プログラム」があったが担当医の移動により中止になったような説明が事例の中であったかと思えます。各施設で「慢性疼痛に関する治療プログラム」などがあれば紹介頂きたいと思えます。
- ・ 臨床に役立つ話

本セミナーをどこでお知りになりましたか。（複数回答可）

13件の回答



①精神科医が伝える！慢性疼痛に対する実践的アプローチ —発達障害の観点も含めて—

令和4年度厚生労働省  
慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業  
近畿地区共催セミナー

**参加無料**

**精神科医が伝える！  
慢性疼痛に対する実践的アプローチ  
—発達障害の観点も含めて—**

日時：2023年3月15日[水] 18:00~19:00  
場所：オンライン開催 (ZOOM)  
対象：慢性疼痛に関わる、または興味のある医療従事者

主催：兵庫医科大学病院ペインクリニック部  
共催：厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業

**演者**

岡山大学病院精神科神経科 助教

**井上真一郎 先生**

\*当日は岡山大学運動器疼痛センターでの活動内容や、慢性疼痛患者の治療に対して、精神医学的な視点でお話しをいただきます。


**参加申し込み方法**

3月8日(水)までに、右記の下記のQRコードから参加申し込みにあクセスいただき、必要事項を記載の上お申込みください。(Googleフォームを使用しています)

QRコードが読み取れない場合は下記URLよりお申込みください。

<https://forms.gle/GTsRona1mBaU6Jzw6>

お問い合わせ：兵庫医科大学病院ペインクリニック部 メール (pain-med@hyo-med.ac.jp)



**精神科医が伝える！  
慢性疼痛に対する実践的アプローチ  
—発達障害の観点も含めて—**

日時：2023年3月15日[水] 18:00~19:00  
場所：オンライン開催 (ZOOM)  
主催：兵庫医科大学病院ペインクリニック部

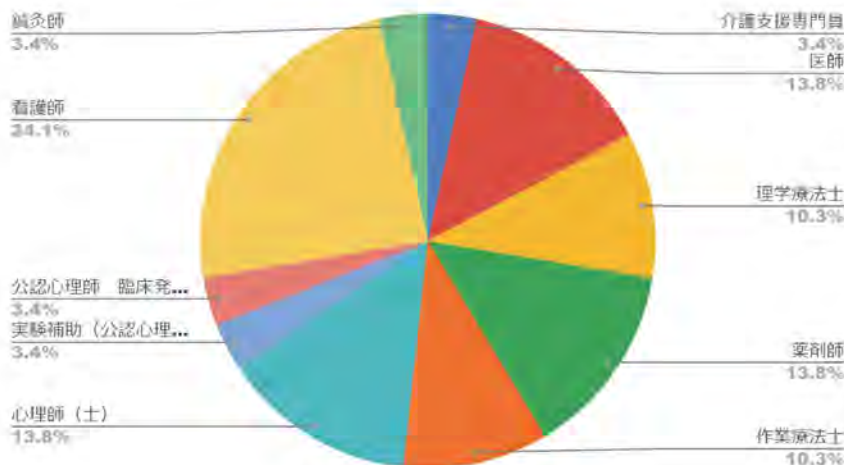







2023年3月15日（水） 18：00～19：00（オンライン開催）  
参加者 50名

あなたの職種について教えてください



本セミナーについての感想をお聞かせください

29件の回答



### ■本セミナーについてのご意見・ご感想をご記入ください

- 慢性疼痛の背景にうつ病、発達障害などの精神面の要素が存在するケースがあることが参考になりました。学習の機会が得られたことに感謝申し上げます。
- 非常にわかりやすかったです。
- 慢性疼痛診療に関心のある精神科医がいるだけでもありがたいです。
- 大変わかりやすく例を挙げてご説明くださり、すぐに臨床で応用可能だと感じました。早速実践してみたいと思います。ありがとうございました。
- 疼痛だけでなくうつや発達障害の対応まで非常に勉強になりました。
- 貴重なご講演をありがとうございました。
- 以前、脳外科の手術後の患者さんについて、担当の

- 医師（他院）から相談を受けたことがあり、今回参加させていただきました。慢性疼痛では、できることを増やし、自己効力感があがるよう伴走することが大切だとよくわかりました。患者さんだけでなく、周りの方々でも、今日教えていただいたことを心に置いて伴走したいと思います。
- 特に慢性疼痛や発達障害の患者さんへの対応法、声かけの仕方について勉強になりました。興味深い講演をありがとうございました。
- 慢性疼痛について、発達障害、その他の精神障害にも関わった幅広い知識や支援のポイントを教えていただき、大変、役立つ内容でした。ありがとうございました。

- ・井上先生の本には、いつもお世話になっています。慢性疼痛患者さんの精神科医アプローチは正にあるあるで、困ることが多いのですが【慢性疼痛がわかっている精神科医】で井上先生のような方を発掘していこうと思いました。発達障害についても具体的な例も交えてお話しいただき、理解が深まりました。本当にありがとうございました。
- ・三つ組みの障害の捉え直し方など大変実践的に感じました。統合失調症の方もそうですし、双極性障害の方も精神科医の先生の参画・サポートがあるとその方の慢性痛の診療がより円滑になるのではないかと思います。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。

- ・発達障害のことなど、他の職種や他の診療科の方にもお聞きいただきたい素晴らしいご講演でした。ありがとうございました。
- ・大変わかりやすく、勉強になりました。
- ・アセスメントの重要性、よくわかりました。
- ・初心者にも大変わかりやすく明快な説明で楽しく拝見しました。ご紹介の書籍にて学び直しをしたいと思います。
- ・楽しく勉強させて頂きました。今回勉強した事を生かして患者さん達だけでなくスタッフ達とも上手に仕事をしたいと思います。有難うございました。

## 第8回 慢性痛に対する認知行動療法研修会

日時：2023年3月26日(日)10:00～12:30  
オンライン開催 (zoom)

参加対象者：心理士（公認心理師・臨床心理士）、医師、歯科医師、看護師、理学療法士・作業療法士、言語聴覚士、ケアマネージャー、介護士、薬剤師、その他の医療介護従事者等

### 運営メンバー（講師）

大野 裕 一般社団法人 認知行動療法研修開発センター 理事長  
柴田 政彦 奈良学園大学保健医療学部 教授  
西江 宏行 川崎医科大学附属病院麻酔・集中治療科 講師  
安達 友紀 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 助教

### 10:00～ 講演

#### 「対面・個人形式のベーシックな慢性痛に対する認知行動療法プログラム」

演者：細越 寛樹（関西大学社会学部社会学科心理学専攻 准教授）

### 10:40～

#### 参加者によるブラッシュアップワークショップ

主催：慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業近畿地区  
共催：一般社団法人認知行動療法研修開発センター

### 参加申込：

URLまたはQRコードより参加申込フォームにご入力ください

<https://forms.gle/QoRyGYw6A9gUsQD98>

参加申込締切：2023年3月19日（日）



【事務局】慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業－近畿地区－  
滋賀医科大学麻酔学講座内 pain@belle.shiga-med.ac.jp





令和4年度厚生労働省  
慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業-近畿地区-

# NEWS LETTER



2022年9月発行

- ・産業界で発生する慢性疼痛診療連携事業について
- ・施設紹介（膳所診療所・大阪大学歯学部附属病院）

## 産業界で発生する慢性疼痛診療連携事業について

腰痛、頸肩腕部痛、頭痛など、働く人たちが抱える慢性痛は多岐にわたっており、時に就業を困難にし、休職や失業につながることもある。うつ病や適応障害が合併するケースでは、治療に難渋し、職場復帰に支障をきたすことも少なくない。働く人たちの慢性痛の予防及び治療においては、事業所の産業保健スタッフの役割が重要であること、及び「仕事と治療の両立支援」において慢性痛に対する有効な治療を普及させる必要があることから、本事業では以下の取り組みを行っている。

### 1) 産業医向け慢性痛セミナー

令和元（2019）年度から「産業医慢性痛セミナー」を実施し、産業医が理解すべき作業関連運動器障害の予防に関する話題、及び慢性痛の治療と復職支援に関する話題を合わせて提供している。同セミナーは、大阪府保険医協会産業医対策委員会、滋賀県産業医会との共催で、日本医師会認定産業医制度の生涯研修会・専門の単位認定をしている。また、2020年度以降は滋賀会場と大阪会場をつないでオンラインと対面のハイブリッド形式で開催。2会場合わせて対面参加が140～170名、オンライン参加者を含めると毎年約200名が参加し、好評を得ている。

### 2) 診療連携

滋賀医科大学附属病院（学際的痛みセンター）では、かねてより膳所診療所・職業病外来と連携して診療をおこなってきたが、平成29（2017）年度から、本モデル事業にて腰痛や頸肩腕部痛など作業関連性の慢性運動器疼痛に対する集学的治療を開始。年単位で休業していた人が職場復帰を果たすケースもあり、総じて高い効果を確認した。この滋賀県での連携を一つのモデルとして、就労継続に支障をきたす慢性痛に対する病診連携の普及を図ってきた。これまでに、千里山病院集学的痛みセンターとのごと診療所・産業医学科との連携、膳所診療所から近畿地区診療ネットワーク医療機関への紹介など行われている。症例数及び連携医療機関の拡大が課題となっている。

北原 照代

（滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門、膳所診療所）

## 膳所（ぜぜ）診療所・職業病外来



同診療所の職業病外来は、今から約30年前に、滋賀医科大学予防医学講座（現・社会医学講座・衛生学部門）が協力して開始され、1999年から筆者が週1回担当している。通院患者の職種は、手話通訳者、重症心身障がい者施設職員、保育士、介護士、看護師、特別支援学校教員、建築労働者、公務員など様々である。同診療所は大津市中心部に位置するが、滋賀県東部・北部、JR沿線の大阪・京都、更に遠く愛知・岐阜・京都府北部から通院しているケースもある。対象疾患は、腰痛や頸肩腕部痛などの作業関連性運動器障害がほとんどだが、うつ状態や適応障害などを併発する事例も少なくない。対象患者数は計約70～80名で、その約25%が労災診療事例、約25%が労災診療終了後のフォロー事例と、約半数が現在もしくは過去に労働災害として認定された事例である。

担当を始めた当初は、非ステロイド性抗炎症薬の処方を中心で、体操励行や保温など日常生活のアドバイス、時間を割いて傾聴、といった診療スタイルだった。滋賀医大附属病院・学際的痛み治療センターの開設、理学療法士による運動器リハビリが可能な整形外科開業医及び労働衛生に理解のあるメンタルクリニックの増加、新しい疼痛治療薬（トラマール、リリカなど）、信頼できる鍼灸院や整体院の確保、新経絡療法



（「ツボ」刺激による疼痛緩和）や漢方薬処方などにより、2010年頃から、治療の選択肢が広がった。特に、学際的痛みセンターへの紹介により、病診連携・他職種連携が一段と進んだ。また、筆者が産業医を務める老健施設、および埴田前准教授が産業医を務める重症心身障がい者施設で発生した腰痛や頸肩腕障害事例についても、主治医と産業医双方の立場で、また埴田産業医と連携して、患者の治療と職場復帰支援をしているのも同外来の特徴である。微力ながら、今後也多職種・医療機関と連携して、慢性痛に悩む働く人々を支援していきたい。

辻村（北原）照代

（膳所診療所・職業病外来、  
滋賀医科大学・社会医学講座・衛生学部門）

#### 大阪大学歯学部附属病院

大阪大学歯学部附属病院は、1953年に医学部附属病院から独立し、西日本で最初の国立大学歯学部附属病院として発足しました。1983年に中之島キャンパスから吹田キャンパスに移転し、現在では国立大学法人の総合大学では唯一の独立した歯学部附属病院です（図1）。

院内には18の診療科・部・センターが配置されており（図2）、その中にさらに多くの専門外来が設置されています。

歯科領域においても、慢性の筋・筋膜性疼痛、神経障害性疼痛、口腔灼熱痛症候群、非定型歯痛など、口腔顔面の慢性疼痛への対応が必要な症例は少なくありません。大阪大学歯学部附属病院では、このような症例の紹介を受け、複数の診療科のドクターが連携を取り合って診療にあたっています。厚生労働省慢性疼痛モデル事業との関わりは、柴田政彦先生にお声がけいただき、2018年度の診療体制構築プロジェクトに歯科部門として参加させていただいたことから始まりました。以降、2019年度の痛みセンター設立プロジェクト、2020年度からの慢性疼痛診療システム普及・人材養成プロジェクトと継続して関わらせていただき、現在に至っています。

口腔顔面痛の診察、診断にあたり、歯科疾患だけでなく、口腔顔面領域に疼痛が発現するさまざまな疾患に対する知識が必要です。開業歯科医師を含め、歯科医療にたずさわる医療スタッフがこれらを学ぶ場は限られていました。

そこで、一つ目の試みとして、富永病院頭痛センターの竹島多賀夫先生、菊井祥二先生らのお力を拝借し、「歯科医のための Headache Academy 三叉神経・自律神経性頭痛（TACS）の診かた」を2020年度から毎年12月に開催しております。二つ目の試みとして、「歯科・口腔外科領域における痛みのとらえ方と集学的診療の必要性」を2019年度から毎年2月に開催しております。

こちらは、関西医大心療内科の水野泰行先生、神戸学院大学大学院総合リハビリテーション学研究科の松原貴子先生にご尽力いただき、口腔顔面領域の慢性疼痛患者に対する心療内科的アプローチおよび運動療法的アプローチを中心に、歯科医師を対象に集学的立場からの診療介入についても知識を提供すると共に、医師や歯科以外の医療関係者に対しても歯科における痛み治療の詳細を知っていただくことを目標としています。今後も、このような活動を通じて、人材育成や、歯科を含む慢性疼痛診療システムを普及させたいと思います。口腔顔面領域の慢性疼痛症例において、歯科的診察が必要と思われる場合は、ぜひご紹介いただければと思います。

石垣 尚一

（大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 クラウンブリッジ補綴学分野 准教授  
歯学部附属病院 口腔補綴科 副科長）



図1. 大阪大学歯学部附属病院・大学院歯学研究科は大阪大学吹田キャンパスの南側に位置し、写真には万博公園太陽の塔、奥には生駒山を臨む。



図2. 大阪大学歯学部附属病院の診療科案内

#### 事務局

〒520-2192  
滋賀県大津市瀬田月輪町  
滋賀医科大学麻酔学講座内

ホームページ  
<http://painkinki.html.xdomain.jp/>





- ・ 地域医療介護連携事業について
- ・ 関西痛みの診療研究会 ・ 編集後記

## 地域医療介護連携事業について

我が国は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、65歳以上の人口は既に3500万人を超え、2042年の約3900万人でピークを迎えるが、その後も75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降、介護の需要が更に増加することが見込まれています。厚生労働省は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。高齢者が第一の愁訴である疼痛を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるためには、地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが求められています。

このような状況の中で令和2年度から厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業-近畿地区-地域医療介護連携事業が開始されました。柴田政彦（奈良学園大学保健医療学部教授/医師）・中塚映政（なかつか整形外科リハビリクリニック院長）・岡山容子（おかやま在宅クリニック院長）・高橋紀代（篤友会在宅医療センター医師）・下和弘（神戸学院大学総合リハビリテーション学部助教/理学療法士）・鳴尾彰（篤友会リハビリテーションクリニック理学療法士）・前田吉樹（奈良学園大学保健医療学部講師/理学療法士）がコアメンバーとして本事業の企画・運営を行なっています。毎年度2回のセミナーを開催して医師・看護師・療法士だけでなく、介護地域包括の職員・ケアマネジャー・介護士など多職種の方々に参加頂き、疼痛を訴える要介護者に対して多職種協働により医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するための取組みを行ってきました。

中塚 映政  
（なかつか整形外科リハビリクリニック院長）



2022.11.26 地域医療介護連携セミナー

## 関西痛みの診療研究会について

関西痛みの診療研究会は、2010年に始まり今年度13回目を迎えました。第7回まではファイザー株式会社とエーザイ株式会社との共催でしたが、第8回以降は自主運営しており、第9回目以降、本モデル事業の共催という位置づけで開催しております。関西のペインクリニックの医師と心療内科の医師が中心となり、通常の診療ではうまくいかない症例に対してどのようなアプローチがよいかを検討する目的で、症例検討に十分時間を取り議論を尽くしてまいりました。また、痛み関連の第一人者を招き最新の情報を学ぶ機会を提供してまいりました。コロナ禍で難しくなりましたが、懇親会で痛み談議に花を咲かせ親交を深め、「顔の見える」連携を図ることに大きく貢献してきたと自負しております。通常の学会ではなかなか理解が困難な事柄も、この研究会を気に新たな気づきを得られたとの声も伺っています。痛み診療の基礎はやはり症例検討にあると思います。このような議論の場は非常に貴重なのでこれからも長く続くことを祈り、微力ながら尽力させていただきます。

水野 泰行  
（関西医科大学心療内科学講座）



関西痛みの診療研究会 当番世話人

第1回	2010年	大阪大学	柴田 政彦
第2回	2011年	滋賀医科大学	福井 聖
第3回	2012年	関西医科大学	水野 泰行
第4回	2013年	兵庫医科大学	神原 政仁
第5回	2014年	神戸大学	高雄 由美子
第6回	2015年	西宮市立中央病院	前田 倫
第7回	2016年	奈良県立医科大学	渡邊 恵介
第8回	2017年	兵庫医科大学	恒遠 剛示
第9回	2018年	関西医科大学	水野 泰行
第10回	2019年	兵庫医科大学	高雄 由美子
第11回	2020年	国立がん研究センター	松岡 弘道
第12回	2021年	滋賀医科大学	中西 美保
第13回	2022年	奈良県立医科大学	渡邊 恵介

編集後記

本モデル事業は3年ごとに行われており、今年是最終年度で一区切りを迎えます。近畿地区の本事業は、慢性の痛みに関連する9つの領域に事業を細分化し、事業ごとにセミナーを年1-2回開催してまいりました(9事業の模式図)。痛みセンターを新たに7か所設立した事をはじめ、施設相互見学や心身医療のネットワークを構築するなど、近畿地区の慢性の痛み診療体制構築に努めてまいりました。



新型コロナ流行下ではWEBを活用し、近畿地区にとどまらず日本全国からもセミナーに参加していただきました。さらに関西痛みの診療研究会、認知行動療法研修セミナーなど関連領域との連携も進めてまいりました。初年度セミナーの総参加者数は700名でしたが、本年度は1600名を超え、医療者の教育、啓発には一定の役割を果たすことができました。

また、今年度は患者会のセミナーや一般市民を対象としたYouTube配信にも挑戦し1,000人以上の方にご覧いただきました。

本事業では、参加者の現場の声を尊重して患者の痛みの訴えにどんなふうに取り組んでいくのが望ましいかを一緒に考えることを大事にしてまいりました。慢性の痛みの多くは、特別な治療法がなく、本人の前向きな気持ちを引き出すことが大事です。知慮意欲を引き出す接し方や対処法、さらにこのような対応が現場に定着させる方法について共に考える機会を提供できたことは関係者一同、「よかった」と感じております。多くの方々から支援の言葉を頂戴し、役割を果たすことができました。本事業の運営にご協力いただいた関係者の皆様方及び参加していただいた皆様方に感謝申し上げます。

モデル事業近畿地区アドバイザー  
柴田政彦 (奈良学園大学)

令和4年度 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 近畿地区  
オンライン 市民公開講座



2023.2.23 市民公開講座 (YouTube配信)

事務局

〒520-2192  
滋賀県大津市瀬田月輪町  
滋賀医科大学麻酔学講座内

ホームページ  
<http://painkinki.html.xdomain.jp/>







## ポスター



# ”報知器“の誤作動かも




## 長引いているその痛み、

そもそも痛みは、  
 身体の危険を教えてくれる火災報知器のようなもの。  
 でも、原因（病気やケガなど）が治った後も  
 痛みがおさまらないことがあります。  
 それが「慢性痛」、報知器が誤作動を起こして  
 鳴りやまない状態です。  
 頭痛、歯痛、肩こり、指痛、腰痛、下肢痛、膝痛など。  
 長引いているその痛みは、慢性痛に詳しい  
 医療機関でないと治療できません。

**当院は、「痛みセンター」と連携し、慢性痛治療にあたっています。**



厚生労働省の慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業（近畿地区）に参加し、近畿地区の痛みセンターと連携して、慢性痛患者さんの診療を行っています。痛み報知器の誤作動で悩んでおられる方はぜひご相談ください。

近畿地区モデル事業の痛みセンター  
 滋賀医科大学医学部附属病院／関西医科大学附属病院／大阪大学医学部附属病院／  
 兵庫医科大学病院／京都府立医科大学附属病院／篤友会千里山病院／寿会富永病院／  
 奈良県立医科大学附属病院／国立病院機構大阪南医療センター



いたкинネット  

<http://itakinnet.html.xdomain.jp>

● このポスターに関するお問い合わせは [pain@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:pain@belle.shiga-med.ac.jp) 【厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業近畿地区事務局】へメールをお願いします。



# 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 —近畿地区—

ホームページ（医療従事者向け）

<http://painkinki.html.xdomain.jp/>



いたきんネット（一般の方向け）

<http://itakinnet.html.xdomain.jp/>



Facebook

<https://www.facebook.com/painkinki.jp/>



公式LINEアカウント

<https://lin.ee/fAZKRXG>



5. ポスター・HP・FB・LINEなど

令和4年度  
厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 一近畿地区一  
**報 告 書**

---

令和5年3月発行

編集・発行

【厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 一近畿地区一 事務局】

滋賀医科大学医学部附属病院ペインクリニック科内

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

Mail: pain@belle.shiga-med.ac.jp